

令和3年度第4回調布市社会教育委員の会議 議事録

- 1 日 時 令和3年11月9日(火) 午後3時から午後4時15分まで
- 2 会 場 調布市教育会館3階301研修室
- 3 出席者 8人
篠崎議長, 荒井委員, 進藤委員, 田村委員, 西牧委員, 新田委員, 福田委員, 毛利委員
- 4 傍聴者 4人
- 5 事務局
社会教育課長, 社会教育課職員3人
- 6 議 題
 - (1) 報告事項
 - ア 令和3年度第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について
 - イ 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・第3回拡大役員会について
 - ウ 令和3年調布市公民館運営審議会第4回定例会・第5回定例会について
 - エ 令和4年度調布市社会教育関係登録団体活動事業補助金事前調査集計結果について
 - オ 令和4年度学習グループサポート登録希望団体事前調査結果について
 - カ 令和4年調布市成人式について
 - (2) その他
令和3年度調布っ子“夢”発表会の実施について

7 議事録

○篠崎議長

では、会議を始める。マスクを着けていると発言がわかりにくいので、発音を正確にお願いしたい。

議題へ入る前に事務局から社会教育事業報告をお願いしたい。

○事務局

7月13日(火)開催の社会教育委員の会議後、本日までのコロナ禍における社会教育課事業について報告する。

7月12日(月)に発出された4回目の緊急事態宣言が10月1日(金)に解除となった。これに伴い、八ヶ岳少年自然の家について、利用人数の制限をしつつ10月1日(金)から再開している。宿泊人数を50%以下、一人あたりの専有面積を最低3㎡に制限して再開した。青少年交流館は、館内の密を防ぐため、利用人数を制限している。10月25日以降の利用時間は、小学生が午後2時～午後5時、中学生・高校生が午後2時～午後6時としている。日中も含めた貸館利用については、利用登録団体は通常通り利用可としている。

学校開放授業は、10月25日（月）以降、校庭は通常通りとし、体育館と教室については、使用人数制限を継続しており、学校施設のため確保するスペースを一人あたり4㎡としている。

知的障害に関わる事業については、中止した事業と実施できた事業がある。遊 ing は4回目を10月17日に実施、杉の木青年教室は7月4日の工作を実施、のびのびサークルは家族単位の参加となるが、6月から10月までで4回実施できた。

成人式は例年1月の成人の日に1回（1時間半）開催で行ってきたが、令和4年からは、2部のアトラクションをなくし式典のみとし、1回40分を2回開催する予定である。感染防止対策をしながら開催できればと準備を進めている。

○進藤委員

八ヶ岳少年自然の家の利用が再開されたそうだが、学校は1泊に日程を変えたと聞いている。どの学校もそうなのか。

○事務局

市立小学5年生の移動教室は通常2泊3日で実施していたが、前期は都県をまたぐ移動の自粛要請が出ていたため中止せざるを得なかった。10月2日から全校実施し、日数がないため1泊2日にして再開した。土日については、一般向けに施設の開放をしている。

(1) 報告事項

ア 令和3年度第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

令和3年度第52回関東甲信越静社会教育研究大会東京大会について報告する。

資料1-1を御覧願いたい。

令和3年11月11日（木）に、東京大会が府中の森芸術劇場「どりーむホール」にて開催される。

調布市から、篠崎議長がトークセッションの登壇者として、西牧委員が司会として、また、調布市社会教育委員も参加する。

東京大会は、主に前半と後半の2つに分けられる。

前半では、アトラクション、開会行事に続き、基調講演が行われる。基調講演の講師は、東京大学教授 牧野篤氏、演題は、「みんながつくる〈社会〉へー人生100年、AI、そしてポストコロナ時代の社会教育ー」となっている。

基調講演終了後、15分間の休憩を挟み、後半では、トークセッション、質疑応答、閉会行事と続き、閉会となる。

次に、東京大会当日の会場へのアクセスについて説明する。

(会場へのアクセスについて説明)

次に、東京大会の受付時間及び昼食について説明する。

(受付時間、昼食について説明)

最後に、資料1-2を御覧願いたい。

東京大会終了後、大会内容を収録した記録動画を動画配信サイト（Y o u T u b e）にて配信予定である。

資料1-2に記載のURLまたはQRコードから、一旦、東京大会のホームページにアクセスし、そこから更にY o u T u b eへアクセスして、東京大会の記録動画を視聴できる。

東京大会の記録動画は、前半部分と後半部分の2本構成で、配信期間は、令和3年12月1日（水）から令和4年1月31日（月）までを予定している。

東京大会の概要については、以上である。

篠崎議長から補足があれば、お願いしたい。

○篠崎議長

久しぶりの東京での開催となり、本来なら2000人近い方が集まる会議だが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、東京都内の方限定の参加となり参加者は300人程度になる見込みである。東京都外の方は参加できず、非常に残念ではあるが、異例の大会として開催する。

感染者が増加していく中、開催中止も検討していたが、ホームページや動画配信で広報を行い、感染対策を実施しつつ、1日の開催となった。

牧野先生の話は、資料を見る限り先進的な面白い内容になるのではないかと考えている。

イ 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・第3回拡大役員会について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会第3回役員会・第3回拡大役員会について報告する。

第3回役員会・第3回拡大役員会は令和3年10月19日（火）午後1時30分から府

中市役所府中駅北第2庁舎にて開催された。

東京都市町村社会教育委員連絡協議会の副会長として篠崎議長が、事務局から1名が出席した。

資料2-1を御覧願いたい。

議事の内容としては、報告事項が5点と協議事項が2点あった。

時間も限られているので、今回は調布市社会教育委員に直接関係する事項のみ、報告する。

まず、報告事項(3) 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会ブロック研修会について、報告する。

資料2-2を御覧願いたい。

東京大会が1日開催となったことに伴い、東京大会2日目に開催が予定されていた分科会がブロック研修会に移行し、5つの市によるブロック研修会が開催されることとなった。

令和3年11月6日(土)に青梅市で開催された、第1ブロック研修会には、東京都市町村社会教育委員連絡協議会の役員として篠崎議長が出席・挨拶をした。

後ほど、篠崎議長から第1ブロック研修会の内容について、情報共有願いたい。

また、調布市が所属する第5ブロック研修会は令和3年11月20日(土)午後1時30分から、狛江市防災センター4階にて開催予定である。

この研修会には4人の調布市社会教育委員が参加予定であり、次回の社会教育委員の会議にて研修内容を共有願いたい。

最後に、協議事項(1) 令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流大会・社会教育委員研修会について説明する。

先日、メールでも案内をしたが、令和3年度東京都市町村社会教育委員連絡協議会交流会・社会教育委員研修会は、令和3年12月11日(土)午後1時30分から、府中市市民活動センタープラッツ バルトホールにて開催予定である。

なお、懇親会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施しない。

令和3年10月時点の会場の制限ルールを踏まえ、各市からの参加人数を事務局職員含め、6人に制限しての開催となる。会場の制限ルールが変更となった場合は、参加人数を調整する可能性がある。

報告は以上である。

篠崎議長から補足があれば、お願いしたい。

○篠崎議長

「人口減少地域を支える社会教育」ということで、人口1400人の成木地区で若者たちが展開させている、祭りや社会教育事業についての話を聞かせてもらった。

これは、全国にも言える事で、全国社会教育委員の会議でも、こういう趣旨のテーマが出てくるかと思う。良いところは、彼らがそういう形で事業を起こしていくうえで、自分たちが楽しいと思えることを中心に頑張っってやっていく、無理だと思ふことは諦めて断ることを考えているところである。社会教育では、楽しいことが最大のエネルギーとなる。これから新たな展開を期待できる事業である。

ウ 令和3年調布市公民館運営審議会第4回定例会・第5回定例会について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

令和3年調布市公民館運営審議会第4回定例会・第5回定例会について説明する。

令和3年10月19日（火）に北部公民館で第5回定例会が開催された。

また、緊急事態宣言を踏まえた調布市の対応方針に基づき、急遽中止となった第4回定例会も併せて開催された。

資料3-1（第4回定例会日程）を御覧願いたい。

(1) 人事異動については、資料配付及び報告を控えさせていただく。

(2) 使用状況報告（令和3年6月～7月分）については、令和3年度調布市公民館使用状況報告（6月～7月分）のとおりである。東部公民館の令和3年7月分を除き、利用単位・利用人数が令和2年度の同時期と比べて増加しているが、その理由は、令和2年度では、最初の緊急事態宣言により、公民館の利用者数が制限されたのに対し、令和3年度では緊急事態宣言期間中、利用人数の制限下でも、感染症対策を講じ、公民館の利用があったためとのことである。

(3) 事業報告（令和3年6月～7月分）については、令和3年度調布市公民館事業報告（6月～7月分）のとおりである。

資料3-2（第5回定例会日程）を御覧願いたい。報告事項から説明する。

(1) 使用状況報告（令和3年8月～9月分）については、令和3年度調布市公民館使用状況報告（8月～9月分）のとおりである。各館で利用単位・利用人数が令和2年度の同時期と比べて減少しているが、その理由は、令和3年度の各講座や文化祭実行委員会の実施を中止したためとのことである。

(2) 事業報告（令和3年8月～9月分）については、令和3年度調布市公民館事業報

告

(8月～9月分)のとおりである。

(3) 地域文化祭の開催については、令和3年10月30日(土)から11月7日(日)までの期間、東部・西部・北部公民館にて、地域文化祭が開催されるとの報告があった。

協議事項について説明する。

(1) 令和3年度研修会については、公民館運営審議会研修会「公民館・公民館運営審議会委員の役割と地域」と題し、令和3年11月24日(水)に東部公民館にて開催予定の研修会について、公民館運営審議会委員が希望する研修内容について検討した。

報告は以上である。

○篠崎議長

以上の説明について、質問等があるか
(質問等なし)

エ 令和4年度調布市社会教育関係登録団体活動事業補助金事前調査集計結果について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

令和4年度調布市社会教育関係登録団体活動事業補助金事前調査集計結果について報告する。資料4-1, 4-2を御覧願いたい。

この補助金は、調布市社会教育関係団体に登録のある団体のみを対象とし、活動事業に対し補助金の交付を行うものである。

令和3年10月1日時点での登録団体全25団体宛てに通知し、9月3日から10月1日まで調査を行った結果、10団体から令和4年度に申請を希望する回答があった。その内容をまとめたものが、資料4-3の一覧表である。

表の1から9の団体は、今年度もこの補助金を申請し決定を受けている団体で、引き続き、来年度も申請を希望するとのことであった。

表の10の団体は、令和4年度に新しく申請を希望する団体である。

表の8の団体の交付予定金額については、変動することを見越し、千円未満を切り上げて計上している。

今後、この事前調査をもとに令和4年度の予算を計上する。

令和4年4月にこれら10団体からの本申請を受け、5月の社会教育委員の会議で審議したのち、交付決定をする。

社会教育登録団体活動事業補助金の事前調査結果についての説明は以上である。

○篠崎議長

以上の説明について、質問等があるか。

○篠崎議長

補助金を申請した団体は増えているのか。

○事務局

1 団体増えている。

オ 令和4年度学習グループサポート登録希望団体事前調査結果について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

学習グループサポート登録希望団体調査結果について報告する。

資料5-1を御覧願いたい。

学習グループサポート事業について、簡単に説明する。

この事業の目的は、市民の自主的な学習活動をサポートすることにより、共同学習・相互学習を推進するとともに、各グループに、広く市民に向けた公開講座を、年1回以上開催してもらうことで、学習の成果を地域に還元してもらうことにある。

対象となるグループは、市民5人以上からなり、社会教育に関するテーマについて学習するグループである。

学習グループへのサポート内容は、公開講座で講師を依頼する際の「講師謝礼・手話通訳者謝礼・保育者を付ける際の保育者謝礼の助成」、そして、「市報や市ホームページへの掲載とチラシの印刷を行う広報活動のサポート」である。

令和4年度の登録希望について、市報やホームページで周知し、令和3年8月20日から9月30日の間に調査票の提出があった結果を報告する。

資料5-2のとおり、今年度登録のある7グループのうち、7つのグループから継続の希望があり、新規の希望はなかった。

学習のテーマとして予定されているのは、「憲法と子育て・暮らし」「若者支援」「アイヌについての歴史学習」「障害者、マイノリティー、健常者のインクルーシブ エデュケーション」「コミュニケーション」「コロナ下の社会問題・教育について考える」「障害児教育について」の社会教育の内容となっている。

予算については、この調査結果に基づき、7つのグループ分を計上したので、報告する。

学習グループサポート事業に関する報告は以上である。

○篠崎議長

以上の説明について、質問等があるか

○西牧委員

この制度は手厚いサポートをしてくれるが、近年、新規に登録されるグループがない。年に何回、どのような媒体で広報しているのかを知りたい。

○事務局

調布市報や市ホームページにて広報している。年に何回、広報しているかは手持ち資料がないので即答できない。

また、簡単に登録申請ができるよう、様式をホームページから手軽にダウンロードできるようにしている。

○篠崎議長

もう少し広報してほしい。知っている人だけがサポートを利用している状況にならないように願いたい。

○西牧委員

この事業はサポートを受けて公開講座の開催のお知らせが市報に少し掲載される程度である。具体的にどのような内容が行われたのか、サポートを利用した感想等が紹介されると良いのではないか。

公開講座を実施する際、この事業の講師謝礼のサポートを利用すると、通常は謝礼が高額で依頼出来ない講師にも、金額の上限を提示して依頼しやすくなる。若者が呼んでみたい講師を招き、自分たちとは違う視点から公開講座を開催できれば魅力的だと思う。是非とも工夫して広報してもらいたい。

○事務局

市報での広報では、優先順位や誌面の制限があるが、ホームページやSNSであれば誌面の制限がないので、市としてはホームページやSNSを主体に広報していきたい。

○毛利委員

予算編成の都合上、毎年7月から9月に登録の募集をかけていると思うが、学習グループが年間計画を立てる前の募集のため、使いにくいということがあるのではないか。

この募集スケジュールが変えられないのならば、募集スケジュールを明示のうえで、「来年度は、登録申請をしてサポートを利用してほしい」との広報をすれば、使いやすくなるのではないか。

○進藤委員

事前調査の対象となっていなくても、本申請は可能なのか。

○事務局

可能である。あくまで来年度予算額概算をしらべるための事前調査である。

○進藤委員

公民館の1年間の成人学級が終了した後、グループを作ることがある。そういうグルー

プは当然、事前調査の対象とはなっていない。

○毛利委員

学習内容を発表したい時に、すぐに登録申請して、サポートしてもらえると良い。

○田村委員

事前申請していないグループも本申請が可能とのことだが、事前調査終了後、予算計上し、来年度の学習グループサポート事業の予算が決定すると思う。資料に「申請するグループ数により、助成額等を調整する場合がある」と書いてあるが、例えば、事前調査の対象となっていないグループが新年度に登録申請した場合、事前調査の対象となったグループが計画していた予算が減ることもあり得るということか。だとすればなかなかきびしい内容だと思うがやむを得ないのだろうか。

○事務局

御指摘のとおり。

カ 令和4年調布市成人式について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

令和4年調布市成人式について報告する。資料6を御覧願いたい。

市報11月5日号にて、令和4年調布市成人式開催の案内をしたので、資料6をもとに説明する。

令和4年調布市成人式は、例年どおり、令和4年1月10日（月）の成人の日にグリーンホール大ホールにて開催を予定している。

中止となった令和3年調布市成人式と同様、第1回、第2回に分けて開催する。各回、内容同一、入替制となる。

これは、新型コロナウイルス感染防止対策として、会場及び駅前広場での新成人の密集を避けるため、出席人数を会場の収容人数の半分としたことによるものである。

第1回は正午から午後0時40分まで、第2回は午後3時から午後3時40分までとし、アトラクションは実施せず、式典のみを開催する。

第1回は調布中、神代中、第七中、第八中学校、第2回は第三中、第四中、第五中、第六中学校を卒業した新成人、その学区に住所のある新成人が出席する。

なお、調布市外在住の新成人が調布市の成人式に参加する場合は、電子申請による事前申込が必要となる。事前申請のあった調布市外在住の新成人にも、成人式の案内状を送付する。

今後の感染状況によっては変更する可能性があるので、本日は現状のみ報告した。

例年であれば、社会教育委員の皆様にも出席案内をすところであるが、今回は会場の密集を避けるため、御案内を控えさせていただく。

成人式についての報告案件は以上である。

○篠崎議長

以上の説明について、質問等があるか。

○進藤委員

2回に分けて開催すれば、新成人全員を会場のグリーンホールに収容できるのか。

○事務局

例年の新成人の出席率から計算して、グリーンホールに収容可能と判断している。

○篠崎議長

感染症対策として、グリーンホール内の席の間に1つずつ空席を設けるのか。

○事務局

お見込みのとおりである。

○篠崎議長

例年どおり、グリーンホールの前で新成人を祝う会が開催されるのか。

○事務局

駅前広場がワクチン接種会場となっていること、また、令和3年調布市成人式が中止となったが、駅前広場に新成人が滞留したこともあり、今回は市役所前庭で、各中学校のPTAがテントを設営して、新成人を祝う会を開催することとなる。

(2) その他

令和3年度調布っ子“夢”発表会の実施について

○篠崎議長

それでは事務局に説明をお願いしたい。

○事務局

令和3年度調布っ子“夢”発表会の実施について報告する。

机上に、開催通知を置いているので、そちらを御覧願いたい。

調布市教育委員会では、子ども達に自由で夢のある意見発表の機会を提供するとともに、活動を通して、まちづくりへの参加意識を高めることを目的として、例年、「調布っ子“夢”発表会」を開催している。

令和3年度の調布っ子“夢”発表会の開催日時は、令和3年11月28日（日）午後2時

から午後3時30分までを予定しており、開場は午後1時30分となっている。

会場は調布市文化会館たづくり12階大会議場である。

今年は12人の子ども達が、「わたしが考える未来の調布」をテーマに意見発表する。

令和3年度の発表校は、公立小学校が多摩川小学校、杉森小学校、柏野小学校、国領小学校、布田小学校であり、私立小学校が桐朋小学校の全6校である。

都合のゆるす限り、委員の皆様には、是非御出席いただきたい。
報告は以上である。

○篠崎議長

以上の説明について、質問等があるか。

○毛利委員

昨年度の調布っ子“夢”発表会は開催したか。

○事務局

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて、開催中止となった。

○福田委員

発表校は希望する小学校ではなくて、教育委員会から指定した小学校になるのか。また開催中止となった令和2年度の発表校は、令和3年度はどうなるのか。

○事務局

発表校は輪番制となっている。開催中止となった令和2年度の発表校は、そのまま令和3年度の発表校となっている。

○新田委員

発表児童が女子に偏っていると見えるが。

○事務局

発表児童の推薦については、各発表校に委ねており、選出方法も様々である。結果として発表者が偏ることもある。

○篠崎議長

男子、女子という区別はデリケートな問題であり、それを論じるのも難しい。

報告事項については以上である。

(この後、コロナ禍での社会教育活動について、委員一人ずつ報告等を行った)

8 閉会

○篠崎議長

それでは事務局に次回の日程について案内をお願いしたい。

○事務局

令和4年2月8日(火)午後3時～

場所は教育会館201・202研修室または文化会館たづくり1002学習室を予定している。

○篠崎議長

それでは閉会とする。

以上。